

病院の基本理念

わたしたちは、生命の尊重と、平等な人間愛を基本とします
地域の基幹病院としての自覚をもち、明るく豊かな社会づくりに貢献します

お約束

- 一、患者さまの信頼と満足が得られる最善の医療・看護をめざします
- 一、患者さまの必要とする情報の提供につとめます
- 一、患者さまのプライバシー保護に万全をつくします

秋田組合総合病院の患者さまの権利

わたしたちの病院では、安全で質の高い安心な医療を提供するために、患者さまの権利を保証することをお約束いたします。

この権利は、患者さまと医療従事者の共同の力で行使され、継続・発展されていくもので、患者さまの立場にたった医療に不可欠の内容となっています。

1. 良質で安全な医療を公平にうける権利
2. 人格を尊重され、専門的医療の対応と援助をうける権利
3. 自己の医療内容を知る権利や医療情報の開示を求める権利を有し、十分な説明と情報提示のもとで、治療方法に自己決定できる権利
4. プライバシーを保護される権利
5. 健康教育をうける権利
6. 医療参加の権利

病院の諸規則を知り、医療内容や病院の運営に提言し、ともに医療改善の活動に参加する権利

なお、すべての患者さまが適切な医療を受けられるために、患者さまには、他の患者さまの治療や医療従事者による医療提供に支障を与えない配慮がする必要があります。

当院の取り組み

クリティカル・パス

診療部長(整形外科)

阿部 栄二



入院後に行われる検査や治療は、同じ病気の患者さまではだいたい同じような方法と日程で行われています。クリティカル・パスとは患者さまの「入院診療計画表」のことで、このような同じ病気の患者さまや異なった病気でも同じ治療や検査を受ける患者さまに行う入院指導、オリエンテーション、ケア処置、検査項目、術後のリハビリ、退院指導などをスケジュール表のようにまとめてあります。大型プロジェクトの複雑な作業工程を管理し、工期の短縮やコスト削減をはかる目的でつくられた作業計画表として生み出された方法を、1985年にボストンの看護師カレン・ザンダーさんがはじめて医療に応用しました。日本ではここ2～3年前から急速に普及してきました。

医療が高度化、複雑化しチーム医療が主体となった今日、業務の効率化、標準化、医療チーム内のコミュニケーションの改善、入院日数の短縮、医療費の節約、医療の質の向上、インフォームドコンセントの充実、医療事故予防、医療の透明化などクリティカル・パスの役割の重要性はますます高くなっています。外科系の比較的ポピュラーな疾患の手術や内科系の内視鏡検査などで良く用いられています。この入院診療計画表は患者さま用と医療スタッフ用2枚あります。

当院では専門の推進委員会をつくり2年前から積極的に導入し、現在50を超える各種のクリティカル・パス表が作成され、日々用いられています。これを用いた入院患者さまの満足度は高く、好評です。

絵画・彫刻の紹介



右)「開墾地初夏」
展示場所 / 2階麻酔科外来前廊下
左)「秋田男鹿風景」
展示場所 / 1階レストラン前廊下



「開墾地初夏」は田沢湖高原、「秋田男鹿風景」は男鹿半島近くの加茂青砂海岸での油彩です。入院患者さんや病院を訪れる方々の病気回復を願っております。

癒しの環境

作者 / 相澤謙一 (秋田市土崎港在住)
明治45年秋田市生まれ。秋田師範卒。土崎小学校長等歴任。現在、現代美術家協会会員、秋田美術作家協会顧問。県美術文化章授章、県文化功労章授章。



右)「イラストレーション」
展示場所 / 2階健康センター内廊下
左)「イラストレーション」
展示場所 / 2階健康センター内廊下



作者 / 青木隆吉 (秋田市將軍野在住)
昭和13年秋田市生まれ。多摩美大卒。現在、秋田公立美術工芸短大教授、同附属高等学校校長。県デザイン協会会長。二科会デザイン部審査員。

この二つの作品は、CGによるイラストで、一つは青空、もう一つは夕日を背景にそれぞれ幾何形態等を加えることで見る人達に何かを感じとっていただければと思います。病院を訪れる方々が、この作品をご覧いただき少しでも癒されれば幸いです。

部署紹介

No.2

臨床検査部

臨床検査技師長

猪股 正明



新病院になり臨床検査部は最新の分析装置とシステムで検査を行っています。臨床検査部は大きく分けて検体検査部門と生理検査部門に分かれます。生理検査では、心電図、超音波、呼吸機能、脳波、平衡機能検査などを行っています。検体検査部門はさらに5部門に分かれ、一般検査では、腎機能などを調べる尿検査、腸からの出血を調べる便潜血検査、髄液検査、虫卵検査などを行っています。微生物検査では、尿、便、髄液、血液、膿など体から得られるさまざまな材料を培養し、病気の原因となる微生物(細菌)を特定し、さらに見つけた病原微生物に、どのような薬剤が効くのかを検査し報告します。病理検査では、細胞診検査や、病理医による手術後の組織の病理診断、さらに手術中の迅速診

断も行っており、手術の方向を決める重要な検査の一つとなっています。血液検査では、貧血、炎症などを見る、いわゆる血球検査と止血機能を調べる各種凝固因子検査を行っています。また、血液型、交差適合試験など輸血に関する検査も行っています。生化学検査では、肝機能、腎機能、電解質、血糖、脂質検査など約40項目もの検査を行っており、さらに血清免疫検査として肝炎ウイルス検査、甲状腺ホルモン、感染症検査と腫瘍マーカーと呼ばれる特殊蛋白検査も行っています。

臨床検査部では多くの項目を「速く正確に」をモットーに検査しており、緊急検査については24時間体制をとり、救急医療に対応しながら地域の基幹病院としてスタッフ一同頑張っております。

今年の行事をふりかえって

- 6月8日 第2回病院祭
- 7月24日 開院70周年記念講演会
- 8月16日 イズマエル・パエス氏来院 (ワールドゲームズピリヤード選手)
- 8月30日 秋田市総合防災訓練

3年目を迎えた私たちの活動<その2>



創刊号では、わたしたちが病院で行うボランティアの活動内容について紹介しました。引き続き活動状況について紹介します。

病院より活動の心得として下記の指示を受け活動の方針としております。

①挨拶は笑顔で「こんにちは」「はい」「ありがとう」「すみません」など親しみのある挨拶や快い返事をする。

②患者さんへの接し方は、対等な人格として上下の関係なく、すべての患者さんには分け隔てなく、特別な関係を作らず、秘密は守ること。患者の容態について必要以上のことを訪ねたり、詮索しないこと。病気の質問を受けたときは病院職員に取りつぐこと。

③態度ふるまいについては、規律や秩序を守り、病院の方針に従い、部門の責任者と連絡を取り合い、その指示に従うこと。政治・宗教活動をしないこと。

現在の個人登録数は49名おります。1日の活動参加人数は7.5人で、平均活動時間は3時間15分です。



活動中に多くの来院者より「おはようさん、今日も来ました。ボランティアの人がおられて良かった」「どうも」「苦勞さん」「どうもありがとう」と感謝とねぎらいの言葉をかけてもらったときは、活動してよかったと思うと同時に、来院者自身が満足感や安心感が得られたことに充実感があります。

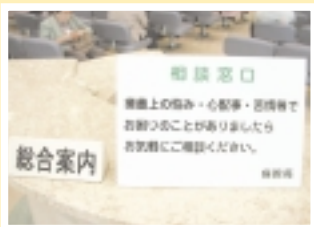
活動に参加している多くの活動員も思いを同じく社会貢献をした充実感と責任感を強く持ちながら個々の生活をエンジョイするともに、良き友人もできるなど活動員相互の融和をはかりながら和気藹々の一時も楽しみつつです。

ボランティア活動に参加したい方の受付は医療相談室になっております。

「相談窓口」の案内について

病院1階エントランスホールの総合案内に下記の内容で相談窓口の案内の表示をしております。

患者さまが、気軽に相談できるように相談窓口を案内し、医療サービスをはかっています。ケースワーカーが相談に応じます。



進歩する最新医療

【第2回】ボツリヌス毒素治療法



診療部長 平田 温
(神経内科)

ボツリヌス毒素はボツリヌス菌の出す強力な神経毒素です。これは神経系で主要な情報を伝えるアセチルコリンという物質の放出を邪魔して、運動神経の麻痺、副交感神経麻痺、瞳孔散大、便秘、排尿障害などおおよび発汗障害（これは交感神経）を起します。

この毒素はアセチルコリン作動性の末梢神経にのみ作用することから、逆にいるいるな病気の治療に用いられるようになってきました。現在我が国で使用が認められている疾患は、眼瞼けいれん（正しくは攣縮性眼瞼けいれん）、片側顔面けいれん、痙攣性斜頸の3つです。これ以外に欧米で有効性が認められている疾患は、斜視、歯ぎしり、書痙、痙攣性発声障害、排尿障害、尿射出筋括約筋共同困難症、上下肢痙攣（つっぱり）脳性麻痺、慢性頭痛、多汗症、それに美容目的のしわの治療などがあります。いくつか御紹介しましょう。

ボツリヌス毒素はボツリヌス菌の出す強力な神経毒素です。これは神経系で主要な情報を伝えるアセチルコリンという物質の放出を邪魔して、運動神経の麻痺、副交感神経麻痺、瞳孔散大、便秘、排尿障害などおおよび発汗障害（これは交感神経）を起します。

この毒素はアセチルコリン作動性の末梢神経にのみ作用することから、逆にいるいるな病気の治療に用いられるようになってきました。現在我が国で使用が認められている疾患は、眼瞼けいれん（正しくは攣縮性眼瞼けいれん）、片側顔面けいれん、痙攣性斜頸の3つです。これ以外に欧米で有効性が認められている疾患は、斜視、歯ぎしり、書痙、痙攣性発声障害、排尿障害、尿射出筋括約筋共同困難症、上下肢痙攣（つっぱり）脳性麻痺、慢性頭痛、多汗症、それに美容目的のしわの治療などがあります。いくつか御紹介しましょう。

まず眼瞼けいれんですが、「まぶた」がピクピクけいれんすることから始まり、両方に広がって、やがて両眼瞼とも指でこじ開けないと明かない状態に至ります。原因は大脳基底核の異常による運動障害ジストニアと考えられ、1996年にボツリヌス毒素治療が承認されたから、初めて劇的な改善がもたらされました。治療は3〜4ヶ月に1回、「まぶた」の数ヶ所の筋肉（眼輪筋）に極く少量を注射するだけで済み副作用は殆どありません。痙攣性斜頸は主に頸の筋肉に起こるジストニアで、2001年に本治療が承認されました。

片側顔面けいれんは顔面神経の一部が動脈に圧迫されて生じると考えられ、ジストニアとは違う病態ですが、筋肉が攣縮している点は同じなので、やはりボツリヌス毒素治療が有効です。（2000年認可）。

我が国ではまだ認可されていませんが、書痙、脳性麻痺、多汗症、などにも有効なので、やがて使える日が来ると思われれます。美容目的のしわの治療（筋肉を麻痺させしわが見えにくくなる）は現在、認可されていません。

当院では2002年4月から眼瞼けいれんと片側顔面けいれんが、同年10月からは痙攣性斜頸が治療可能となっております。

あわただしく発刊した光と風（創刊号）はいかがでございましたか？

第2号も病院の基本理念を果たすべく各取り組みを紹介しております。

「秋田組合総合病院の患者さまの権利」を明文化しております。今回の「クリティカル・パス」は患者さまが主体性を持って、標準的な医療が受けられる権利です。より質の高いパスを目指しております。

シリーズでお届けする「癒しの環境」の作品紹介は、作者ご本人からコメントを頂戴し掲載することになりました。親しまれる広報誌を目標に取り組んでおりますが、まだまだ未熟な編集部ですので、皆様のご意見・ご希望をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

鎌田(さ)記

編集後記

ホームページ更新のお知らせ

当院のホームページを更新しました。ホームページアドレスにアクセスして下さい。新しい情報、各部署の取り組みがわかりやすく掲載されています。美味しい情報が掲載されているかもしれません。

ホームページ <http://www.akikumihsp.akita.akita.jp>

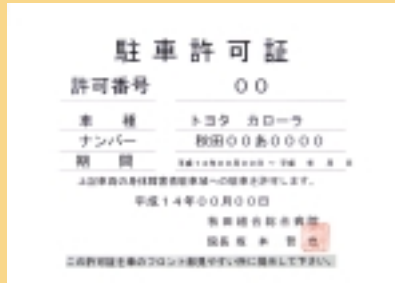
身障者専用
駐車域への協力を
お願いします

当院の身障者専用駐車域は駐車場内に24台分設置しておりましたが、今年6月より正面玄関まわりに10台分を確保しました。この10台分の身障者専用駐車域は、歩行が困難で自分が運転する方で、主治医が相当と認めた方に「駐車許可証」を発行し利用いただいております。



歩行が困難で車を運転する方は、特に車を離れてからが大変です。このため、少しでも病院の正面玄関に近い場所に、タクシー待ちスペースを移動いただく等して10台分を確保しました。この場所は、健常者の方々にしてみれば、便利でちょっと停めたくなる所ですが、身障者の心の痛みがわかる方々なら、きっとご協力が得られるものと信じております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、正面玄関まわりの身障者専用駐車域をご利用なさる方の窓口は1階医療相談室になります。



行事

| | |
|----------------------|---------------------------------------|
| 10月10日(木) ~ 11日(金) | 日本農村医学会 第51回学術大会(帯広市) |
| 10月20日(日) | 電気設備法定点検 |
| 10月24日(木) ~ 25日(金) | 厚生連事務職員研修会(医事課) |
| 10月29日(火) | 救急隊員との合同カンファレンス |
| 11月 3日(日) | 第43回 農村における健康を考える集い(横手市) |
| 11月 5日(火) | 監事監査 |
| 11月14日(木) ~ 15日(金) | 厚生連医Ⅲ(看護師)研修会(中級) |
| 12月 6日(金) | ニューライフセミナー |
| 12月(受審日は未定) | 病院機能評価受審 |
| 12月19日(木) | クリスマスコンサート |
| 12月31日(火) ~ 1月 3日(金) | 外来休診日(年末年始) (ただし救急患者は救急センターで受付します) |
| 1月23日(木) ~ 24日(金) | 厚生連事務職員研修会(一般) |
| 2月 2日(日) | 秋田県農村医学会 98回学術大会 |
| 2月14日(金) ~ 15日(土) | 厚生連医Ⅱ(医療技術員)研修会(一般) |